



Welcome to 五高 library

The door to the books

こんにちは！図書委員会です。

高総体や各種大会、コンクール等を間近に控え、部活動に励んでいる人も多いと思います。人生で一度きりの高校生活、悔いの残らないよう、きついことも全力で楽しんでいきましょう！
今回の図書日よりはスポーツに関する本の特集です。

令和6年度
文部科学大臣表彰
子供の読書活動優秀実践校

令和7年度
五島高校：図書委員会
5月15日作成
5月28日発行

図書委員制作担当
3-1
3-1
3-2
3-2

イラストレーション部担当
3-1
3-2
3-6
2-1
1-1



スポーツと君たち
著者：佐藤 善人
出版社：集英社



No.1 メンタルトレーニング
著者：西田 文郎
出版社：現代書林

スポーツには「する」に加え、「みる」、「支える」、「知る」、「創る」などの多種多様な関わり方があります。将来、スポーツに関わる仕事に就き、親になって子どもにスポーツを教えるかもしれません。

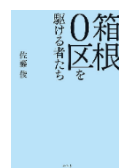
そうになったときにこの本を読んでいて良かったと思えるような教養やメッセージがたくさんあります。

スポーツが好きな人も苦手な人もぜひ一読してみませんか？

この本を読めば、自分の可能性を引き出す方法が分かります。しかし、ひとつだけ条件があります。それは、継続することです。

自分の心をコントロールできれば、どんなきつい場面があってもメンタルで打ち勝つことができます。

自分を信じて取り組める、とてもおススメの本です。



箱根0区を駆ける者たち
著者：佐藤 俊
出版社：幻冬舎

第94回の東海大学の4年生を中心に追ったストーリー。箱根駅伝の出場が叶わない選手は0区と呼ばれ、選手のサポート役になる。箱根にかけた学生と監督の人間ドラマに溢れた一冊を読んでみませんか。



走ル
著者：羽田 圭介
出版社：河出書房新社



21世紀版「オン・ザ・ロード」と激賞された話題作!!

ある高校2年生男子が授業をさぼりロードバイクでひたすら八王子から北上していくストーリー。

目的地もなくとにかくひたすら前に走るという強い思いやそこから感じ取れる冒険心は読書を心地よくさせ前向きな気持ちにしてくれる作品です。

またこの本では、自分を取り巻く日常世界の狭さを長距離の自転車旅を描く中で対比しているのが趣深くおススメポイントです。

虎視眈々 一実力を発揮せよ!!

皆さんは、プラザに面したガラスの絵に気づいていますか？毎年美術部が思いを込めて描いています。

今年の一学期は、左の虎の絵！大きな行事である体育祭や部活動を応援するために描きました。

目標に向かって取り組んでいる友を皆で苦楽を共にしたい！という意味も含んでいます。

行け！進めよ！勝利は我が物ゴーゴー五高!!

※虎視眈々(こしたんたん)とは、「油断なく機会をじっと狙っている様子」を意味します。

美術部制作：2-2

2-2

2-3

図書委員
(毛筆含)



きみといた夏
著者：速藤 智彦
出版社：文芸社



高校3年生の夏、野球部を引退した剛。これからは進学に向けて頑張ろうとするのだが、野球部仲間の呼びかけで「引退セレモニー」をすることになりそのイベントが思わぬ事態を引き起こすことに…。

青春真っただなかの剛が、一夏の経験を通して成長していくストーリー。友情、恋、さまざまなことで思い悩みながらも一生懸命日々を過ごしていく剛の姿に感動することまちがいなし!!!高校生である今だからこそぜひ読んでいただきたい作品です。

チア男子!!

著者：朝井リョウ
出版社：集英社

親友に誘われ、大学チアリーディング界初の男子のみのチームを結成することになった、主人公のハル。何とか集まった超個性的なメンバー達とともに、全国選手権を目指します。

会場と演技が一つになるチアリーディングならではの大会シーンは圧巻です。

読めばあなたも、誰かを応援したくなっちゃうかも？



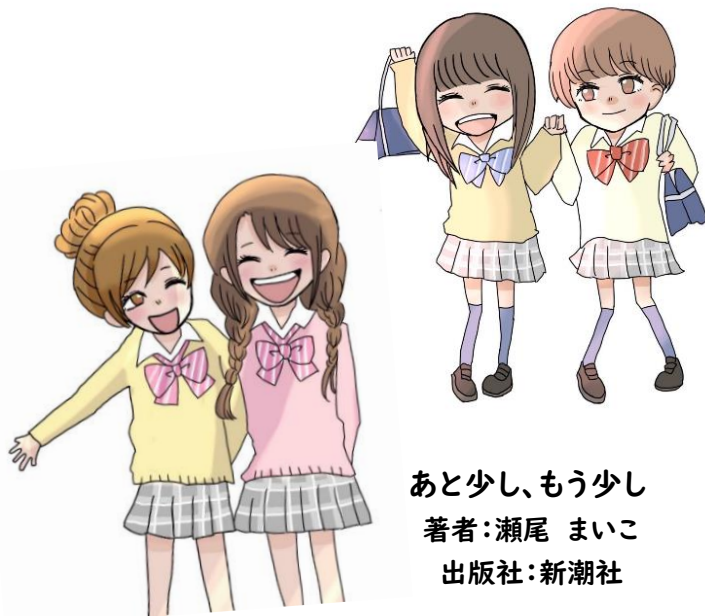
図書委員のオススメ

スポーツに関するお勧めの特集はいかがでしたか？

慌ただしい毎日ですが、疲れた時にリフレッシュのアイテムとして、本を手にとってみてください。読書によって気分が前向きになったり、新しい気づきを得たりすることもあります。

読みたい本が思いつかない時は、ぜひ五高図書館へ。

あなたにぴったりの本が、きっと見つかります！



あと少し、もう少し

著者：瀬尾 まいこ

出版社：新潮社



陸上の名物教師が転勤してしまった市野中学校。陸上初心者の新顧問と寄せ集めのメンバーで、中学校最後の駅伝に挑む一夏の物語です。

それぞれに悩みや秘密を抱える6人が駅伝を通して少しずつチームになっていき、一本の襷をつないで懸命に走ります。

中学生のリアルな心情が細やかに描かれた、まっすぐで、ただ熱いだけじゃない青春小説です。

かがみの孤城

著者：辻村 深月

出版社：ポプラ社



いじめや不登校といった現代の社会問題をテーマにしながら、幻想的な世界観を描いた作品です。

ちなみに、私のオススメは映画でコナンの声優で人気の高山みなみさんが「真実はいつも一つ」とっていた所が好きです。



日本人なら知っておきたい、日本史の授業

著者：金谷 俊一郎

出版社：PHP 研究所



読んだら忘れられない、学び直しに最適な一冊。

東進ハイスクールの超人気教師が日本史の流れを解説しています。学習参考書の手法をふんだんに盛り込み、スツと頭に入る。

「日本の歴史」を楽しんでもらうための入り口として、日本人として知っておきたい「日本史のあらすじ」を書いている本です。

気になった方は、ぜひ読んでみてください。



1リットルの涙

著者：木藤 亜也

出版社：幻冬舎



これは15歳の少女、木藤亜也さんが、難病「脊髄小脳変性症」と闘いながら書き続けた日記をまとめた1冊です。

「どうして自分が…」と苦しみながらも周りの人への感謝を忘れず懸命に生きようとする姿や余裕がないときでも相手を思いやることができる少女。自分と重ね合わせてみると、すごく大事なことに気づかせてもらい、忘れかけていたことも再確認することが出来ました。

ぜひ、「1リットルの涙」を読んでみてください！

当たり前だと思っている全てのことが、どれほどかけがえないものか気づかせてくれます。



スポーツ脳震盪

著者：谷 諭

出版社：大修館書店



スポーツで脳震盪の問題が注目されている今日、スポーツに関わるすべての人が正しい情報を知っておくべきです。

この本では、発生のメカニズムや、予防法、対処法を各スポーツ種目の実例を交えてわかりやすく解説しています。日タストイックに練習に励む運動部の人たちは必見です。



バッテリー

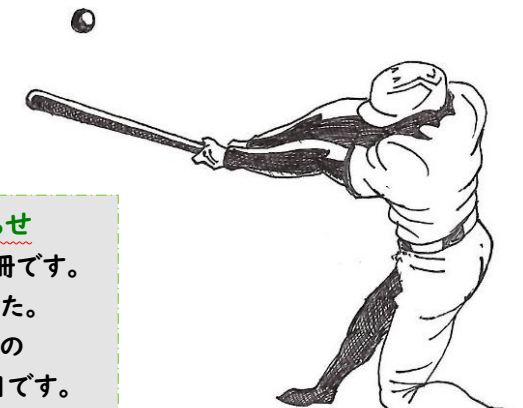
著者：あさの あつこ

出版社：KADOKAWA



実力も自信もあるピッチャーの巧、周囲に気を配れるキャッチャーの豪、巧に憧れる病弱な弟の青波。

3人それぞれの野球に向き合う様子が書かれています。幾つになっても読める名作を手にとってみませんか。



図書館統計のお知らせ

4月の貸出冊数は202冊です。

昨年度は262冊でした。

4月昼休みと放課後の入館者数は89人/8日です。